

令和4年11月2日

八女市議会議長 角 田 恵 一 様

八女市議会議員（議長）角 田 恵 一

第17回全国市議会議長会研究フォーラム参加報告

このことについて、別添のとおり報告します。

記

1. 日 時 令和4年10月19日～20日
2. 場 所 長野県長野市（ホクト文化ホール）
3. 大会テーマ 『デジタルが開く地方議会の未来』
4. 参加人数 全国市議会議員約2,000人（別添参加者名簿）
5. 研究プログラム 別添資料

研究会に参加しての考察

・基調講演及びパネルディスカッション、事例報告を拝聴して特に
思ったことは（課題等）

1. 議会のデジタル化の目的はあらゆる災害時にも議会機能を十分に発揮し、住民とのコミュニケーションを確保すること。
2. 誰もが取り残されないデジタル社会に向けて議会が果たすべき市議会のリーダーシップの構築。
3. 市議会が地域のコミュニティを取りまとめる役割を果たすために必要なデジタル改革(DX)推進。
4. 市民からのアクセスが容易なデジタル化は不可欠。市民への「議会報告会」こそハイブリッド開催などデジタル化になじむが、普段からデジタル化を進めていないとそうした対応も難しくなる。
5. 将来、議員のなりて不足の面からもオンライン議会の可能性は大きい。
6. 自治体全体のデジタル化と歩調を合わせるべき。(執行部)
7. 平時・災害時・コロナ禍にかかわらず議会機能が停滞しない環境の構築を図っていかなければならない。

◎ 今後、確実に進むであろうデジタル化社会において地方議会も必然的にデジタル化の導入が求められる。ただ、人材、財政等の課題もありスムーズには進まないと思われる。出来るものから少しずつでも進めていく必要がある。